

金ケ崎町子育て支援センター利用について

いつも支援センターを利用頂き、ありがとうございます。

岩手緊急事態宣言が1月23日に発令されました。

新型コロナウイルス感染症の報告が近隣の他市町村などでも多数となり、支援センターの利用について、当面の間、下記の通りとさせていただきますので、よろしくお願い致します。

- ◇利用については、金ケ崎町内の方のみとさせていただきます。
- ◇午前5組・午後5組までの利用とさせていただきます。
- ◇来所時には、マスクの着用をお願い致します。
- ◇ご家族の健康確認、検温をさせていただいております。
- ◇お弁当の持ち込みは、お休みとなっております。

ご不便をおかけしますが、ご理解ご協力お願い致します。

利用について分からないこと等、なんでもよろしいです。
お気軽にお電話を下さいね。

電話での子育て相談は通常通り(日曜祝祭日を除く 10:00~16:00)行っております。

電話 0197-44-3365

お電話お待ちしております。

金ケ崎町子育て支援センター

ちびっこひろばだより2月号

令和4年 2月1日(火)発行

社会福祉法人愛護会 金ケ崎町子育て支援センター
 金ケ崎町西根高谷野原1072 Tel 44-3365 Fax 34-3700
[Eメールkosodatesien@aigokai.jp](mailto:kosodatesien@aigokai.jp) (ファックス番号が変更になりました。)

今年も大雪でのスタートとなりましたが、支援センターでは元気な声がいっぱい聞かれ、とても嬉しく思います。センターの広いホールで体をいっぱい動かしてあそびましょう。天気の良い日は、雪遊びも思い切りできますよ。来所の際には、健康確認等をさせて頂き、皆様のご協力に感謝の気持ちでいっぱいです。来所についてわからないこと等なんでもよろしいです。どうぞいつでもお気軽にお電話を下さいね。積雪の際は、車の運転に十分気を付けてお越しください。お待ちしております。

《2月の行事とお知らせ》

月	火	水	木	金	土
1	2	3 節分行事	4 びよびよ (主に0歳児対象) 保健指導員相談日	5	2月10日の離乳食教室は、保健センターで行います。 参加を希望される方は、子育て支援センターに2月4日までに連絡をお願い致します。
7 永岡サークル 「ながままサークル」	チューリップ広場開催日となります。対象のお友達以外の 利用はできません。	9 午前・午後 チューリップひろば 南方サークル 「はあと♥ママ」	10 離乳食教室 (保健センター)	11 建国記念日 閉所	
14	15	16 チューリップ広場開催日となります。対象のお友達以外の 利用はできません。	17	18 とことこ (主に1歳児対象)	
21	22	24 午前・午後 チューリップひろば	25 びよんびよん (主に2歳児対象)	26 パパデイ	
28					

＜2月の主な行事＞(10時30分頃～11時30分頃まで)

- ☆2月3日(木) 節分行事
- ☆2月4日(金) びよびよ(主に0歳児対象)
保健指導員相談日
- ☆2月18日(金) とことこ(主に1歳児対象)
- ☆2月25日(金) びよんびよん(主に2歳児対象)

金ケ崎町子育て支援センターは、金ケ崎町立西小学校西側にあります。

妊婦さんや0歳児から5歳児までの子育て親子のあそびの場、育児・健康・食事についてのメール・電話相談を受け付けております。お気軽にご利用ください。

☆月～土曜日まで(祝祭日は除く)10時～16時

金ケ崎町子育て支援センターの利用について

- ・マスクの着用をお願いします。
- ・来所時の健康確認、検温をお願いします。
- ・お弁当の持ち込みは、お休みとなっています。ご協力をお願いします。

センター利用につきましては、金ケ崎町の対応により、利用の制限がある場合があります。金ケ崎町のホームページ等をご確認の上、ご利用ください。また、支援センターの行事等の開催状況については、毎月発行の「ちびっこひろばだより」や支援センターブログ等でお知らせしますので、ご確認ください。

月齢や年齢別のかかわりのポイントをご紹介します。

4歳ごろの発達の様子



● 身体のコントロールができるようになり、葛藤を経験する中で、感情の抑制ができ始める時期です。

このころの子どもは、足を上げながら進むケンケンや、左右の手を順に開閉する両手の交互開閉ができ始めます。ぞうきんがけ(雑巾を床につけながら前に進む)、登り棒(手で体を固定しながら足を上下に動かして棒を登る)、走りながら縄跳びをしたりボールをけるなど、様々な2つの異なる操作を1つにまとめる「～しながら…する」活動・認識を獲得していきます。



～ 生理的機能の発達 ～

視覚・聴覚・視力などの感覚器および、それに関連する機能の感受性が高まります。視力が1.0前後になり遠近の区別がつくようになり、聴力は青年期と同じレベルに達し、においや味の違いがこれまで以上にわかり、涙腺の分泌が増すこと等が、喜怒哀楽の新たな社会的複合感情を支える生理的基盤となります。

～ 手指の操作の発達 ～

モデルがなくても自ら両手の交互開閉ができ始めます。道具を使う手と、素材を支える手という両手の機能分化が進みます(片手に粘土を持ちながら、もう片方の手でヘラや竹ひごを使って粘土に細工をするなど)4歳後半には、人物画で胴体を表現するようになります。



～ 言語・認識の発達 ～

語彙の数が1500～2000語となります。乱暴な言葉等、様々な言葉を使ってみたくなる時期です。数の復唱では、例えば「4 7 3 9」という4けたの数字を2個1単位が2つあるものとして記憶し、再生することができます。(4-7を覚えながら3-9を聞き、3-9を保持しながら再生し、次に3-9を再生する)ことができ始めます。その日の出来事、さらに過去の出来事について、接続詞を用いながら複文で話すことができるようになります。

～ 自我・社会性の発達 ～

自分の得意なことを発揮し、認められて生き生きとしたり、他者の要求や期待にこたえて褒められ、嬉しいこともあれば、上手くこたえられないとふざけてしまうなど、その時々感情の起伏が激しいこの時期、「～だけれども…する」という自制心の形成に向けた調整が始まります。自分の気持ちだけでなく友達の気持ちも考えられるようになることで、物の貸し借りやルール等を巡って葛藤する場面が増えてきます。少しずつ自分の気持ちを抑えたり、大人に励ましてもらった経験を経て、4歳後半には「もっとこのおもちゃであそんでいたいけれども、友だちにも貸してあげる」など、自制心が形成されるようになります。

